

# 地域課題研究 募集要項

地域が直面する課題を解決するため、地域課題を本学の研究テーマとして募集します。

## 1 趣旨

前橋工科大学が地域に根ざし、地域と共に成長する関係を実現するため、地域が直面する課題を本学の研究テーマとして募集し、本学教員が課題提案者と共にその解決を目指し、調査研究を行います。

## 2 対象課題

提案される地域課題は、本学教員が調査研究の対象とできる内容で、次の研究の何れかに該当し、課題解決により地域の豊かで持続的な成長の実現に寄与できるものとします。

### ①技術開発課題

市民の生活と環境を快適にするための技術開発の研究で、特定の技術や製品開発等を目的とする研究とします。

本研究テーマは実用化研究等の前段階と位置づけております。次年度以降、本格的な共同研究等へ繋がる成果が得られる地域の企業ニーズに基づく提案を募集します。

(例)有機性廃棄物資源の活用研究、特殊施設の建設手法の開発、新型建材・仕上材の評価、硬化軽量機構部品の実用化研究、汚泥の応用利用の実証試験 など

### ②地域活性化課題（本格的な研究段階の課題）

### ③地域活性化予備課題（本格研究前の予備調査的な課題）

地域における課題の解決により、地域の活性化に資することを主目的とするものであり、かつ、①のような特定の技術や製品開発等を目的とするものではない研究とします。

(例)商店街空き店舗の有効活用方策調査、公営住宅団地のコミュニティ再生事業調査、歴史的建造物の保存・活用、街並のデザイン・ルール研究 など

## 3 応募要件

- (1) 課題提案者は、①技術開発課題については、前橋市内に本部や支店などを有する会社法の法人とし、②③地域活性化課題及び予備課題については、前橋市内に本部や支店などを有する会社法の法人、団体組織、自治会、NPO法人、行政機関等（個人は除きます。）とします。
- (2) 研究代表者は、本学の教員とし、研究開発に係るすべての責任を持つこととします。
- (3) ②地域活性化課題の研究代表者は採択された場合、地域連携推進センターの求めに応じて当該研究成果を当該年度中の公開講座や他団体の講演会等（まちなかキャンパス等）の講師として発表し、市民に還元することを条件とします。
- (4) 研究チームには、課題提案者を必ず含めることとし、学外の研究員等を含めて、実際に調査研究等に携わっていただきます。
- (5) 研究代表者の制限  
研究代表者は、技術開発課題または地域活性化課題の研究代表者として1件、地域活性化予備課題の研究代表者として1件の計2件までとします。

#### (6) 事業報告の継続

事業終了後において、研究テーマとして取り組んだ地域課題の状況等について本学から調査を求められた場合は、課題提案者は調査に協力することを条件とします。

### 4 採択手順

- (1) 応募のあった地域課題について課題提案者と協議し、本学教員が研究テーマとして取り組めるか、本学教員とのマッチング作業を行います。
- (2) 本格的な研究段階にない課題は、地域活性化予備課題への移行等をご提案します。
- (3) 本学教員が研究テーマとして取り組めると判断した地域課題については、課題提案者及び本学教員等による研究チームを構成し、本学教員1名が研究代表者となり、事業計画書を作成して審査委員会に提出しますので、課題提案者は必要に応じ、事業計画書の作成に協力してください。
- (4) 審査委員会において、事業計画書の内容の審査を行い、順位付けが行われ、予算の範囲内で上位から事業計画の採否及び研究費の上限額が決定されます。  
なお、審査委員会において調査を必要とされた場合には、課題提案者等に審査委員会にご出席をお願いする場合があります。

### 5 採択結果

研究テーマの採択結果は、課題提案者及び研究代表者あてに通知します。

なお、採択された研究テーマ、課題提案者及び研究代表者名は、本学ホームページ等に公表する予定ですので、ご承知おきください。

### 6 費用負担

①技術開発課題については、課題提案者は事業費の3分の1（採択された研究費の2分の1）を負担します。②③地域活性化課題及び予備課題については、負担はありません。

### 7 地域課題研究費の配分

採択された1研究テーマに、予算の範囲内で次の額を上限又は定額として、課題解決のための研究費として研究代表者に配分し、課題解決のため使用されます。

①技術開発課題：予定予算額 280万円、1件あたりの研究費 40万～100万円（上限）

課題提案者負担金 20万～50万円

事業費 60万～150万円

※事業費ベースで3で割り切れる1万円単位とします。

②地域活性化課題研究：予定予算額 130万円、1件あたり60万円（上限）

③地域活性化予備課題研究：予定予算額 30万円、1件あたり10万円（定額）

※②③については課題提案者の負担金はありません。

※予算はトータルで約440万円です。審査結果により配当額を調整する場合があります。

### 8 支出項目の制限

- ・人件費は、本学学生のアリバイト代のみを対象とします。
- ・①技術開発課題及び②地域活性化課題については、汎用使用できる「PC、プリンター、デジカメ、記録媒体、汎用ソフト(OS、ワード等)」の電子機器類については、配分額の20%以内とします。当該機器類を必要とする場合には、必ず事業計画書に購入理由がわかるよう

記載し、予算に計上してください。

- ・③地域活性化予備課題についてのみ、会議等の食料費(弁当代、茶菓子代)及び飲物代(アルコール飲料を除く)を支出できることとします。その場合は、必ず事業計画書に購入理由がわかるように記載し、予算に計上してください。

## 9 研究成果の報告

研究代表者は、研究終了日までに、研究内容や実績等の成果をまとめた「研究成果報告書(又は資料等)」を提出することとします。

併せて「研究成果報告書(概要版)」を提出し、報告書(概要版)については本学ホームページ等に公表します。

## 10 研究期間

本事業の対象となる研究テーマは採択された1か年度のみとし、研究開始日(平成26年8月1日予定)から平成27年3月31日までとします。

## 11 応募の手続き

- (1) 応募締切 平成26年5月30日(金) 必着で受け付けます。
- (2) 提出書類 別紙の「地域課題研究提案書」に、必要事項を記入のうえご応募ください。提出書類に不備がある場合は、受理しない場合があります。なお、「地域課題研究提案書」は、本学のホームページ(地域連携推進センターのページ)からダウンロードできます。
- (3) 留意事項 本件、「地域課題研究」と「公募型共同研究」との重複応募はできませんが、「公募型共同研究」が不採択となった研究については、審査委員会開催前の地域連携推進センターが指定する日までに応募できるものとします。

## 12 お問い合わせ先

前橋工科大学地域連携推進センター 担当：谷嶋、石原、林

〒371-0816 前橋市上佐鳥町460番地1

TEL 027-265-7361 FAX 027-265-3837 Eメール [chiiki@maebashi-it.ac.jp](mailto:chiiki@maebashi-it.ac.jp)

## 13 事業の日程

平成26年5月 1日(木)	地域課題の募集開始(予定)
〃 5月30日(金)	地域課題の応募受付締切日(必着)
〃 6月中	教員とのマッチング作業等
〃 7月中旬	審査委員会開催
〃 7月下旬	採択・採否決定通知の送付
〃 7月下旬	①技術開発課題は、提案企業と契約締結、提案企業に負担額を請求、納付確認後に研究開始。
〃 <u>8月 1日(金)</u>	<u>研究開始(予定)日</u>
	(審査委員会の開催状況により開始日が早まる可能性あり)
平成27年3月31日(火)	研究終了日